



気候変動に関する外部評価の取得について

～CDPの「Aリスト」企業に選定～

百十四銀行（頭取 森 匡史）は、環境情報開示における国際的な非営利団体であるCDPが実施する2025年度の気候変動調査において、最高評価である「Aリスト」企業に選定されましたので、下記のとおりお知らせします。

当行は、百十四グループマテリアリティ（重点課題）に「気候変動等、環境課題への取組み」並びに「持続可能な経営基盤の構築」を掲げ、気候変動への対応が持続可能な社会の実現に不可欠であるとの認識のもと、ファイナンス商品のラインナップ拡充や地域の脱炭素化支援サービスの提供等に加え、あらゆるステークホルダーへの積極的な情報開示を行っております。

今後も、お客さまや地域社会の皆さまと一体となって、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

○ CDP

- ・CDP（Carbon Disclosure Project）は、企業や自治体の環境情報開示を促進する国際的な非営利団体です。世界の機関投資家の要請に基づき、気候変動・水・森林分野における取り組みを評価し、その結果を公表しています。2024年度は、全世界で24,800社を超える企業が環境情報開示に応じています。
- ・CDPの評価は、投資家や消費者が企業の環境リスクや持続可能性を判断する際の重要な基準となっており、環境経営の透明性を測る国際的な指標として広く認識されています。

○ 選定の概要

- ・今回「Aリスト」に認定された企業は全体の4%となっており、当行は気候変動の透明性において世界トップクラスの企業として認められました。



リーダーシップ

環境保全で業界の模範となっている

A

A-

マネジメント

環境への影響を理解し具体的な対策を行っている

B

B-

認識

環境問題が自社にもたらす影響を認識している

C

C-

情報開示

自社の現状を開示している

D

D-

以 上